



新しい年を迎えて

ユウパニコザクラの会代表 藤井 純一

二〇一九年が明けました。平成最後の年です。皆様それぞれの様な年を迎えたでしょうか。ユウパニコザクラの会が、夕張岳スキー場開発反対の狼煙を揚げて、今年は一〇年の年です。一月には最後の編集会議を終えて、三〇周年記念誌が発刊される記念すべき年です。毎月編集に携わった、菊地事務局長を始め編集委員の努力に敬意を表します。

さて、今季の夕張岳ヒュッテおよび林道の状況をお知らせします。一月に三回行きました。二回は泊り、一回は日帰りでした。昨年よりは格段に雪が多いですが、いつもはこんなもんでしょう。ヒュッテ周りは積雪八九センチメートルでした。林道の倒木は随分多く、雪が解けたら処理しなければ車は通れない状況です。幸いに雪崩や崖崩れは無いです。このまま春を迎えられれば良いなあと思っています。

恐ろしいことに私も古稀を迎えました。体力に少しは自信がありました。指数関数的に衰えて来ましたが、肉体的よりも精神的にダメージが大きいです。その中でヒュッテ建設もまだまだ残工程があります。建設計画を皆様に解りやすく示し、多くの人達の協力で完成に近づけていきたいと思っています。

また、ルーチン的な自然保護活動はもとより、潜在



お正月のヒュッテ。積雪は約1メートルあり、ほぼ平年並みと思われ。手前の川もまだ埋まっています。

的にある子ども達および保護者の、夕張岳に対する活動の場を考えていかなければなりません。会員もいろいろな考えがあるといます。あまり参加してないから意見が出しにくいなんて思わないで、思ったことをどんどん出してください。総会、役員会に因って、良い方向に向けて行きたいと思えます。総会では会の意志決定の場です。多くの人の参加を望みます。

### 第108号

2019.1.31 発行

(平成31年)

ユウパニコザクラの会

事務局

〒069-0835

江別市文京台南町53-13

TEL/FAX 011-387-1385

携帯 080-6090-1839

E-mail

info@yuparikozakura.org

Website

http://yuparikozakura.org

ようこそ花の夕張岳へ

<https://www.facebook.com/yuparikozakura/>

### 自然体験と子どもたち

子どもの居場所「クレヨン会」 代表 山口 一樹

私たちクレヨン会では9月1日(土)に、コザクラの会のみな様の手助けもあって夕張岳登山をすることができました。登ったのは3年生から中学3年生までの9名と大人6名の計15名です。日帰りということもあって、山頂に辿りついたのは11人でした。自分のできる範囲で山と向き合っ、ヒュッテに帰ってきた頃には充実感と達成感が顔に滲み出ていました。

子どもの中に自然と触れ合うことには、たくさんの価値があると感じています。自分の意思だけではどうにも変わらない・動かない存在である自然と出会うことで己の小ささを感じ、また、受け入れられたように自然の中で自由に坂を駆けおり木に登れば、自分の内にあるたくさんの可能性に気付くことにもなります。そして、全てが違つ触感で、違つ匂いで、違つ表情をしていることに気付けば、生命の魅力や多様性にも気付いていくことになり。自然からたくさんを学びながら大人になつていくことで、どんな困難にも立ち向かっている「生きる糧」を得ることにはなるのではないのでしょうか。



クレヨン会の山頂集合写真

今回は第一回目、登山の難しさにも気付くことがいくつもありました。それでも、登山の全身を使った自然体験はかけがえがありません。ぜひ次回も子どもたちと挑戦させてください。今回は本当に手助けしてくださってありがとうございました。またよろしくお願いたします。

## 平成三十年度のヒュッテ宿泊管理業務 なつらびに委託事業業務を終了

2018年9月30日で2018年度の夕張岳ヒュッテの宿泊管理業務と委託事業でもあるパトロール業務は終了しました。以下、その結果をまとめます。

### 1. パトロール

平成29年6月1日から9月30日まで延べ75人にてパトロールを行った。高山植物盗掘防止パトロール(北海道環境局)、森林パトロール(空知森林管理署)

### (ア) 踏みつけ、盗掘の状況について

平成30年度のヒュッテ開きと林道ゲートの開放は6月16日となり、その日程に従い1週間前の6月10日に、第1回清掃登山兼登山道の補修整備作業を行った。コースロープ設置作業は、石原平、望岳台、崩壊地、1400m湿原、吹き通しの5ヶ所を実施。昨年は台風の影響で鹿島林道が通行止めになっていたため、夕張側からの登山者は340余名であったが、今年は通年林道が通れる状態となり、登山者(カウンター集計)は例年並みの1840名と5.4倍になった。踏みつけ、盗掘跡は認められなかったが、温暖化と思われる影響や鹿の被害も認められ、詳しい調査も必要と感じた。

鹿の定点観測については、次年度にコザクラの会単独で行う予定。

### (イ) 高山植物の状況

積雪の量としては平年より少なかった。6月と7月に長雨による低温がしばらく続いた為か、高山植物の開花の状況については一進一退といった感じもあった。8月中旬には1400m以上にて霜があり、開花した植物がしおれてしまう状態にもなった。

蛇紋岩崩壊地のユウパリコザクラは、パトロール初日にはすでに終わっていたが、その後雪解けとともに崩壊

地の斜面に多く見られた。同じく固有種のシソバキスミシは登山道からみられる範囲には、開花は確認できなかった。石原平のシラネアオイ群落は七分咲き程度。夕張岳のシラネアオイは群落の大きさでは道内で最大級の規模である。亜高山帯の鹿の動向についても調査をしたと考えている。

### 熊出没と高山植物の掘起し状況について

7月上旬から釣鐘岩付近に熊出没情報あり。例年現れる個体と思われる。

8月に入っても出没情報は相次ぎ寄せられた。

釣鐘岩の草原一帯、1400m付近の登山道脇で掘起し確認。

鹿島林道でも若い熊の個体が確認された。8月中旬にはヒュッテ前でも目撃。

大夕張側のコースには林道近辺には2頭+α、山間部には1頭+αいると思われるがあまり広い範囲を徘徊していないようである。例年同様に9月中旬には痕跡も少なくなる。



お盆のヒュッテに現れたヒグマ  
あまり大きくなかったが、悠々と森に入っていく。  
焦っていたのでピンボケ画像

### (ウ) 登山者の状況

今年は、通年にわたって林道が通行可能であったため、冷水コース登山口 約1485名、馬の背コース登山口 約335名、計1840余名(カウンター調べ)となった。

実数に関してはカウンター調べ数値より、1割ほどは多くなると思われる。

### (エ) 登山道の状況

登山道全体において、灌木やハイマツが人間の肩の高さ前後で登山道にはみ出している箇所については、剪定はさみにて処置し、跳ね返りによる負傷のリスクを減らした。

1400m近辺の木道が笹により確認しにくくなったため、9月30日に刈り払い機1台にて笹刈りを行ったが、天候不良のためすべては終了できていない。

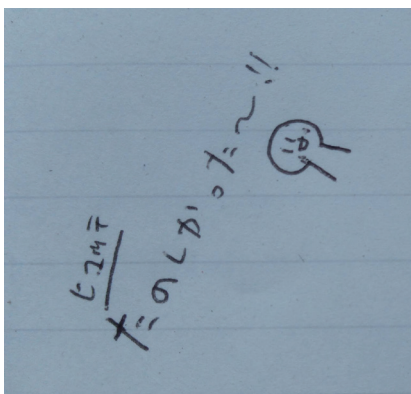
お花畑の高架木道が一部破損し危険な箇所については、マーキングの補修程度は行ったが、恒久的な対策はまだできていない。倒木処理については登山道にかかる部分をハンド鋸で出来る範囲のみを行った。

### 2. その他

林道が通常通行可能になり、昨年に比べ登山者は平年並みに戻りました。2度の長雨と台風21号の襲来、北海道胆振東部地震などが相次いで、登山道・林道への影響が心配されたが、幸いに、特に大きな被害は確認できていない。登山道脇にトイレ跡が散見されたため、携帯トイレの携行を登山口に掲示した。

また、ヒュッテにて携帯トイレを募金方式で入手できるようにした。

駐車場のトイレについては、中身を全部空にして新しいおが屑を充填してる。



9月の最終営業日にお泊りいただいたグループのお子様が残してくれたメモ。  
また来てくださいね~(^^)/

# 平成三十年度北海道高山植物保護 ネット 市民フォーラムに参加

2018年11月24日(土)北海道高山植物保護ネット2018年度市民フォーラムが例年通り北海道大学院環境科学学院で開催され、当会からも藤井代表をはじめ4名で参加してきました。

フォーラムは、主催の北海道大学の大原雅委員長からの挨拶で始まり、講演は梅沢俊さん(植物写真家)「ブータンとネパールの花旅2018」、稲富佳洋さん(環境科学研究所)「エゾシカの影響の測り方」と進み、若手研究者・大学生による研究事例の紹介として、梅川健人さん(北海道大学大学院) 丸くならないのがホントのマリモ、三木田涼佳さん(北海道大学大学院) 実るスズラン、実らないスズラン、相田大輔さん(北海道大学大学院) カワユエンレイソウは、いま... 2018という内容で発表がされました。また今回は行政からという事で、環境省の上川自然保護官事務所所の榊さん(首席自然保護官) から、大雪山国立公園における携帯トイレに関する取り組みの紹介がありました。

当会としては、参加団体からの報告として「今年度の活動報告と夕張岳の登山者状況等」を簡単に発表させていただきました。コザクラの会が係っての夕張岳のエゾシカによる高山植物の食害調査に関してはここ数年行っており、以前のように北海道庁・酪農学園大学主体の調査に協力するだけではなく、独自に調査を行い、その結果を記録として蓄積していくことが、将来的な本格的調査や専門家たちのいろいろな角度からの判断材料の一部となることと考え、現在助成を受けて資材や準備を進めていく計画になっています。そのような意味では、講演にあった稲富さんの「エゾシカの影響の測り方」は参考になりましたので、稲富さんや植物の専門家の方々からの具体的なアドバイスをいただきながら業務を遂行し

ていきたいと思っています。



開催の冒頭で挨拶する北海道大学の  
大原委員長

## ヒュッテ近辺の積雪状況確認 と雪下ろし作業

1月5日〜6日で、昨年末に断念したヒュッテ近辺の積雪状況確認と雪下ろし作業に行ってきました。年末に降った大量の新雪のため、予定の時間をかなりオーバーしました。途中での引き返しも脳裏をかすめました。駐車場から40分あれば大丈夫との判断で進み、ヒュッテが見えたころには、すっかり薄暗くなってしまいました。ヒュッテ周辺の積雪は少なかつた昨年よりは格段に多いですが、概ねこの時期の平年なみ(1メートル位)と思われる。到着した日は、作業はせずに明日に備えて体力回復に努めます。気温はそれほど寒くはなく、マインス7度前後です。ヒュッテ母屋は断熱の施工をほとんどしていないので、真冬の宿泊には不向きです。そこで断熱材で処理を施してある炊事棟のミーティングルームに宿泊することにします。しかしながら、氷点下の室内はさすがに寒く、早速薪ストーブに点火するも煙突からの排気がうまくいっていないようで、部屋の中は煙だらけ。目が開けていられない状態のため母屋から石油ス

トープを持ってきて、同時並行で部屋を温めます。薪ストーブの排煙に関してははちガ明かず、突っ込んだ薪をいったん出して使用を中止することにしました。石油ストーブ一つで温まるかが疑問でしたが、徐々に部屋全体が暖かくなってきてダウンジャケットも脱げるようになりまし。食事も済ませてストーブを中央において周りを囲むように寝床を作ります。石油ストーブは最小の火力にした状態で電気を消すと、ちょうど良い按排でランプの灯りとなって良い雰囲気です。寝る前にトイレに行ったときの夜空がバリツとしてとても綺麗でした。周りは真っ暗なのでなおさらで、普段は見えない小さな星も見ることができ。翌朝は、朝寝坊して7時まで寝ていました。トイレ棟の雪下ろし、退避済みの水道の確認、太陽光蓄電装置の確認とパネルの除雪、炊事棟ストーブの煙突メンテナンス等を行いました。昨年アライグマに荒らされた為、いろいろと防策をした結果、今回は侵入の痕跡はありませんでしたが、小さなネズミは徘徊しているようで、石鹸などがじられて糞も確認しました。

今後1月下旬か2月上旬にも、状況確認作業を兼ねた雪下ろし作業に行く予定です。



トイレの屋根に降り積もった雪を落とす(炊事棟の雪と繋がっています状態でした)

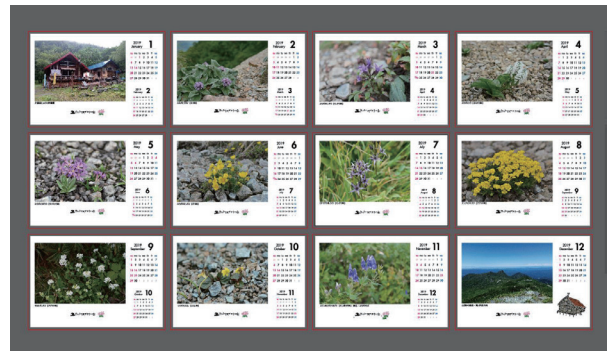


平成30～31年度スケジュール（予定含む）

月	日	各行事内容
1	26(土)～27(日)	ヒュッテ雪落とし②
2	16(土)～17(日)	ヒュッテ巡視パトロール（予定）
3	20(水)	30周年記念誌印刷納品（予定）
	23(土)～24(日)	春山パトロール（予定）
4	20(土)	役員会（夕張）総会&式典打ち合わせ
5	5(日)	式典事前準備&打ち合わせ
	11(土)	総会&30周年記念式典
6	1(土)～2(日)	アポイファンクラブ交流登山（予定）
	8(土)～9(日)	登山講習会→第1回高山植物パトロール
	15(土)	ヒュッテ開き

・30周年記念式典は13:30～清水沢地区公民館で開催予定

コザクラ会オリジナル卓上カレンダーの収益金の一部¥30,000を地震義援金として寄付



2019年卓上カレンダー。今回は花の写真が中心です。

今年度から、新しい試みとして卓上カレンダーを製作して、会員や会員の知人をはじめ、イベントで頒布をしました。1部¥1,000での販売で収入額は¥97,000となり、製作経費約¥25,000を差し引いた収益約¥72,000につきましては、北海道胆振東部地震義援金に¥30,000と、コザクラの会寄付金としての分配をさせていただきます事を役員会にて決めました。ご購入いただきました皆様、ありがとうございました。案内が届かなかった会員の皆様につきましては申し訳ありません。2020年も製作する意欲満々です。

コザクラ会30周年記念誌「夕張岳 大いなる自然～その魅力を訪ねて～」の編集と校正が終了！  
いよいよ発刊に向けての印刷が開始されます。お楽しみに！



30周年記念誌「夕張岳 大いなる自然」  
～その魅力を訪ねて～

まもなく印刷工程です。A5版フルカラーで208ページの内容になります。ISBNコードも取得しました。

ユウパリコザクラの会の30周年記念誌は、会員が独自で編集&校正及びDTP作業をしながら、作業を進めてきました。

資金につきましては、昨年（一財）前田一歩園財団2018年度 of 自然環境保全活動助成金を得て、出版の目途がつき、全道の図書館及び空知管内の小中高等学校に無償配布を予定しています。

オールカラーのA5サイズで持ちやすく、夕張岳の登山情報の他、夕張岳の花々の写真が3区画に分けてわかりやすく紹介されています。もちろん、20周年、25周年の記念誌にご協力いただきました諸先生の方々にも、現在の状況に沿った内容に見直して再度原稿を作成していただきました。新しい視点として「夕張岳の鳥類」なども追加で収録して、「夕張岳のすべてがわかる本」としての企画段階のコンセプトを貫いたものとなり、編集委員一同完成を喜んでいます。

今後は、5月の30周年記念式典にて頒布会を行う予定となっております。お楽しみに。

会費の継続納入・ご寄付  
ありがとうございます！

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパリコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義：ユウパリコザクラの会

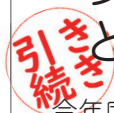
ゆうちょ口座：02780-9-43747

【お仕事の例】

- ・監視パトロール（道委託 / 森林管理署協定）
- ・ヒュッテ管理人・維持管理（夕張市委託）
- ・高山植物学芸員 / 文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流 / 広報・庶務作業



夕張岳ヒュッテの維持管理  
と炊事棟建設にご支援を！



今年度の寄付金については、現在集計中であり  
ます。本当にありがとうございます。

今年は水回りや炊事棟をスピードを上げて整備  
に取り掛かる予定です。作業はボランティアが  
無給で行っていますが、資材や諸費用が不足し  
ておりますので、今一度のご支援をよろしくお  
願いいたします。

名義：夕張岳ヒュッテ管理運営委員会

ゆうちょ口座：02750-6-97634